

## 就職活動日誌

<内定先>

業種：金融機関

選考方法：OpenES→SPIテスト→1次面談→2次面談→最終面談

<就職活動の流れ>

### 2015年2月

- ・上旬からハローワークに通いだす。自分がどういう仕事に就きたいのかが明確になかったため自己分析から始める。
- ・同時に業種研究も進める。
- ・SPIの勉強も2月から始める。
- ・学内合同説明会事前対策セミナーに参加
- ・東京ビックサイトへの学校からの無料バス申し込みをする
- ・髪を黒く染め、証明写真の準備をする（30枚）

### 2015年3月

- ・学内合説に2日間参加する
- ・福島での合同説明会に2回参加。ここで金融機関とテレビ局に興味を持つ
- ・東京ビックサイトの合同説明会に2回参加。その雰囲気圧倒され、東京で就活することをやめる。
- ・個別の会社説明会にも多数参加。テレビ局が多い。
- ・2月から継続してハローワークに通う

### 2015年4月

- ・ハローワークに継続して通い、ESの添削などをしてもらう。
- ・仙台での合同説明会に参加。福島県をはじめとした東北を中心に就活することに決める。
- ・会社説明会にも参加をする。仙台のテレビ局など
- ・ハローワークで主催している、集団面接の講座に参加する
- ・エントリーの締め切りなどが徐々に近づき、下旬から選考もはじまる

### 2015年5月

- ・ハローワークに通いながら、会社説明会に行きつつ選考を受けていた。選考が進んでいくうちに、内定先が第一希望になる。テレビ局の選考はことごとく落ちる。（集団面接がとても苦手だった）

2015年6月

・6月頭に内定先の最終選考があり、翌日に内定の連絡をいただく。第一希望だったため就活を終える。選考途中の企業には辞退の連絡をした。

<就活全体を振り返って>

・私は、自分がどういった仕事に就きたいが明確なビジョンがなかったので、解禁直後に多くの合同説明会に参加しました。また3か所の地の合説に参加したことで、自分がどこで働きたいかを見極め、業種で絞るというよりは場所で絞っていきました。

合説に参加したことで、興味がないと思っていた業種が自分に合っているかもという気付きがあり、私にとっては有意義なものでした。

また私はハローワークで行っている新卒応援を活用しました。学校に中にもキャリアセンターがありますが、ハローワークでは担当の方がついてくれエントリーシートの添削を細かくしていただけたりと、面接の練習もしていただけるので頻繁に通っていました。また学校のキャリアセンターより時間の融通もききました。

・就活中のアルバイトについて

私は就活を福島県中心で行ったため、実家に滞在することが多くありました。ただ編入生のためまだ授業を取っていたので、授業で宇都宮に帰る時を中心にアルバイトを入れてもらっていました。ただ交通費や諸費用で就活中はお金が消えていくので、3月前にもっと貯めていればよかったなと後々反省しました。

・面接におけるアドバイス

面接は緊張するものです。そのためにも事前の準備をしましょう。自分はなぜこの会社を志願するのか、この会社の魅力は何なのか、事前に自分なりの考えをまとめておきましょう。ただ私自身もハローワークで注意されたことなのですが、原稿を読んでいるだけのような受け答えにはならないようにしましょう。自分の考えがしっかりあれば、一語一句原稿のように覚える必要はありません。その方が自分の熱量が相手に伝わると思います。

・最後に

就活が始まる前は、どうなるのかドキドキして心配ばかりだと思います。私もそうでした。しかし就活を通して、自分と向き合うことができたり、色んな業種の方の話を聞くことができるなど貴重な体験が沢山できます。あまりネガティブになりすぎず、就活生の期間を楽しんでほしいと思います。きっと自分が入りたいと思う会社に出会えるはずです。そしてたまには息抜きをしてください。あと何か分からないことがあったら自分で解決しようとするのではなく、先輩でも友達でも頼ることも大事です。自分一人では見えてこな

かったことを客観的に助言されることがありますよ。